

京都市の学校教育・目指す子ども像

～目指す子ども像～ 伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り拓く子ども

京都嵯峨学園教育目標

地域に学び、豊かな人間力を育む小中一貫教育をめざす

小中一貫教育 子どもたちの9年間の学びと育ちの連続性

学校教育目標

心豊かにたくましく、自ら学びに向かう子
～自分大好き、友だち大好き、キラキラ笑顔～

目指す子ども像

「自ら学ぶ力」
学びを楽しむ子 自学自習ができる子

「自ら律する力」
友だちにやさしい子 きまりを守る子

平成30年度 学校経営方針

- ◆学校は学ぶ場所という意識（児童・教職員・保護者・地域）の徹底
- ◆学びの集団作りと主体的に学ぶ児童の意欲や態度の育成
- ◆豊かな学びの場に基づいた確かな学力をつける授業の創造
- ◆「学ぶ楽しさを培う」授業の工夫⇒「学び続ける子ども」の育成
- ◇「すべての児童」を教職員組織全体が育てる体制づくり
- ◇「自尊感情が高い子」「社会性が高い子」の育成
- ◇計画的であるとともにその場に応じた人権教育
- ◇自分の健康や安全を児童が自分で守る健康教育・安全教育

知「確かな学力」

- ・基礎基本の定着
- ・知識・技能の習得と活用
- ・思考力・判断力・表現力の育成
- ・コミュニケーション能力の育成
- ・実践的な英語力の育成
- ・学校図書館の計画的な活用
- ・学力調査等結果分析の活用
- ・ユニバーサルデザインの実践

徳「豊かな心」

- ・道徳教育の充実
- ・学びを支える学習規律の育成
- ・学習集団としての高まり
- ・3つの「あ」の徹底
- ・規範意識の醸成
- ・伝統文化体験での郷土愛の育成
- ・たて割り活動の充実

体「健やかな体」

- ・自分の健康と安全を守る力の育成
- ・体育学習での運動能力等の向上
- ・ガイドライン等に基づいた部活動の充実
- ・給食指導を通じた食育の推進
- ・自分の身を守る避難訓練の実施
- ・薬物乱用防止教室等の実施

組織力(学校力)を高める

- ・学年主任中心の学年組織の充実と活性化
- ・OJT機能の充実と活用
- ・学校評価を活用した教育活動の改善
- ・カリキュラムマネジメントにおけるPDCAサイクルの展開

教職員個々の力を高める

- ・言語活動、協働活動を取り入れた授業改善
- ・「わかる喜びと学ぶ楽しさ」が実感できる指導方法の工夫改善
- ・校内研究の充実
- ・校内外の研修への積極的な参加

地域との連携

地域諸団体との連携
学校運営協議会との連携（学校関係者評価）
地域の人材、素材を教材化し、授業に生かす
地域における貢献活動の推進

家庭との連携

P T Aとの連携
保護者と課題を共有する（保護者アンケート）
家庭に寄り添った対応
家庭学習の習慣化

「開かれた学校づくり」

（学校評価の活用、HP、学校だよりで情報公開）